

統合分野

科目名	看護研究	担当	宮本 康子	
履修学年	3年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	看護研究の原理と方法を学び、学習した知識技術をもとに、学生個々のテーマに基づいた研究過程の実践を通して、看護を科学的に実践する態度を養うことをねらいとする。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の基礎的知識、方法を理解できる。 2. 効果的な文献の活用方法を理解できる。 3. 論理的な思考のもとに、論文を作成する方法を身につける。 4. 研究した成果を発表し、共有することで幅広い視野を身につける。 			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1・2	4	ケーススタディとは 理論の活用、文献検索	講義
3	2	ケーススタディに役立つ看護実践 テーマ決め、計画書を作成	講義
4	2	ケーススタディのまとめ方	講義
5・6	4	ケーススタディの論文のまとめ方	講義
7	2	抄録作成の仕方とプレゼンテーション	講義
8～11	8	ケーススタディ発表会 1日目	演習
12～15	8	ケーススタディ発表会 2日目	演習

教科書	看護学生のためのケーススタディ:メヂカルフレンド社
評価	試験、ケースレポートの提出状況・内容評価・ケース発表会の参加態度、学習態度によって総合的に評価する。
履修上の注意点	ケーススタディ発表会にて、一人ずつ必ず発表する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

34年間病院にて看護師としての勤務あり

統合分野

科目名	臨床看護の実践と管理	担当	宮本 康子	
履修学年	3年次	単位数・時間	1単位	30時間
科目設定の理由 (ねらい)	看護管理に必要な知識・技術・態度を習得し、卒業後に実践できる基礎的な能力を育成することをねらいとする。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織とマネジメントについて看護管理の対象とその守備範囲について理解できる。 2. よりよいケアを行っていくための管理の機能について考えることができる。 3. マネジメントに必要な知識と技術を習得する。 4. 看護を取り巻く諸制度を理解できる。 5. 既習の知識・技術を統合し、対象に合わせて実践できる能力を身につける。 			

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	看護管理とは	講義
2・3	4	看護管理過程	講義
4	2	患者の権利擁護と看護倫理、安全管理体制	講義
5・6	4	看護管理のスキル、法律、制度	講義
7	2	患者シミュレーションとシミュレーションを活用した演習 説明	演習
8～11	8	患者シミュレーションとシミュレーションを活用した演習	演習
12～15	8	患者シミュレーションとシミュレーションを活用した演習	演習

教科書	看護管理:メディカ出版
評価	試験、演習・学習態度によって総合的に評価する。
履修上の注意点	看護の統合実習前の演習となるため多重課題、複数患者受持ちを想定して行う演習も含む。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

34年間病院にて看護師としての勤務あり

統合分野

科目名	看護の統合実習	担当	澤田 律子	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	看護チームの一員として、一勤務帯を通じた実習、夜間実習、複数患者を受け持ち看護を提供する体験を通し、これまでの実習で身につけた知識・技術・態度を統合し看護実践力を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数患者の援助における優先順位の考え方と、時間管理の必要性を理解できる。 2. 看護チームのチームメンバーおよびリーダーの役割を理解することができる。 3. 病棟管理・看護管理の実際について理解できる。 4. 夜間実習の体験を通して患者の理解を深める。 5. 受け持ち患者の看護計画の全体を把握したうえで、複数の患者の看護ケアを実施できる。 			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習:看護師について実習 *詳細については実習要項を参照
2	臨地実習:看護師について実習
3	臨地実習:複数受け持ち実習開始
4	臨地実習:複数受け持ち実習開始
5	臨地実習:管理実習・リーダー実習を含む
6	臨地実習:管理実習・リーダー実習を含む
7	臨地実習:管理実習・リーダー実習を含む
8	臨地実習:夜間実習1日含む
9	臨地実習:夜間実習1日含む
10	臨地実習:夜間実習1日含む
11	臨地実習:夜間実習1日含む
12	臨地実習
13	学内実習:実習のまとめ

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	夜間実習後は、翌日1日間は休日となるため実際の実習期間は14日間となる。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

8年間病院・施設にて看護師としての勤務あり

統合分野

科目名	在宅看護実習	担当	大高 幸	
履修学年	3年次	単位数・時間	2単位	90時間
目的	保健医療福祉活動の実態をとらえ、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、看護の果たす役割を認識し、行動できる能力を養う。			
目標	1. 地域で療養する人々とその家族の問題を生活の問題として理解し、その人々が在宅で健康の維持、増進が図れるよう援助できる能力を養う。 2. 地域内で生活する人々の健康の保持、増進、疾病予防のための援助ができる。 3. 地域内で生活する人々の健康上の問題、関連する諸問題と解決にかかわる多様な職種の仕事の役割、機能を理解し、調整的役割の重要性を学び看護のあり方を理解する。 4. 保健医療福祉活動の実態をとらえ、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、看護の役割を認識し、行動できる能力を養う。			

授業計画

日	授業内容
1	臨地実習:訪問看護 * 詳細については実習要項を参照
2	臨地実習:訪問看護
3	臨地実習:訪問看護
4	臨地実習:訪問看護
5	臨地実習:訪問看護
6	臨地実習:訪問看護
7	臨地実習:健康づくり推進課 * 詳細については実習要項を参照
8	臨地実習:健康づくり推進課
9	臨地実習:介護老人保健施設 * 詳細については実習要項を参照
10	臨地実習:介護老人保健施設
11	臨地実習:介護老人保健施設
12	臨地実習:介護老人保健施設
13	臨地実習:介護老人福祉施設 * 詳細については実習要項を参照

評価	実習評価表に基づいて評価する。
履修上の注意点	実習目標を各実習施設にて達成できるように、事前学習をしっかりと行い実習する。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

11年間病院・医院にて看護師としての勤務あり